

Dance Drill All Japan Competition 2020

Dance Challenge Cup

実施要項

1. **大会名称** Dance Challenge Cup / ダンスチャレンジカップ
2. **期 日**
WEST 2020年12月19日(土)
EAST 2020年12月25日(金)、26日(土)、27日(日)
VTR 審査 2020年12月15日(火)映像提出締め切り
3. **会 場**
WEST 南海浪切ホール
EAST 舞浜アンフィシアター
4. **主 催** NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
5. **大会参加費** 1 エントリー毎、チーム参加費 20,000 円(5 名分の参加費含む)参加者 1 名追加につき 4,000 円追加されます。
4 名以下で参加の場合もチーム参加費 20,000 円が必要になります。
6. **エントリーについて**
 - ① エントリー受付
 - * エントリー総数に上限があります。エントリー申込は先着順となります。
(予定エントリー定数は WEB にてご確認ください)
 - * エントリーは WEB 上のフォームで行う、1.チーム登録と Excel フォームで行う 2.選手登録の二段階になります。
 - * 1.チーム登録及び 2.選手登録の受付をもってエントリーとします。
 - ② VTR 審査
 - * 大会参加希望の団体で、新型コロナウイルスの感染予防の観点から会場での大会参加を希望しない団体は VTR 審査として参加可能。
 - * 審査用の映像提出は、映像データ(MP4 若しくは MOV 形式限定)を USB メモリの郵送、Dropbox リンクのメール送付のいずれかで行うこと。DVD 等のメディア形式は不可。
 - * 2020年12月15日(火)までに後記“書類送付先”に提出すること。
 - * 撮影方法は別紙「VTR 審査撮影ガイドライン」(ホームページ Top ページ右上“各種書類”より取得)を参照。
 - * VTR 審査はエントリー総数に上限はありません。
 - ③ 複数部門へのエントリー
 - * 1 名につき 2 エントリーまで可。
 - * 複数部門に出場する場合は、重複関係がわかるよう 2.選手登録フォームに記載すること。
 - ④ エントリー方法およびエントリー期間
 - * 特設ページ([こちらをクリック](#))より参加希望の日時・会場を選択の上、1.チーム登録を行ってください。

WEST申込 2020年11月2日(月)12時より11月6日(金)17時まで

EAST申込 2020年11月9日(月)12時より11月13日(金)17時まで

VTR審査申込 2020年11月9日(月)15時より11月13日(金)17時まで

- * 2.選手登録フォームは1.チーム登録をした団体にメールにてご案内します。
- * エントリー受付後、大会事務局より確認メールを送信します。順次確認メールを送信しますので、電話でのお問い合わせ・受付前に入金は行わないでください。
- * 申込期間中でもエントリー定数に達した時点でエントリーを締め切ります。

⑤ エントリーの注意事項

- * 1.チーム登録フォームに入力漏れ、不備があった場合は**無効**とします。
- * 2.選手登録フォームは **Excel 形式**のみ受付致します。Numbers・PDF等その他のファイル形式では受付出来ません。
- * エントリー後の増員、メンバー変更は認めない。
- * 同一内容のエントリーを複数人で行った場合、同一団体からのすべてのエントリーを**無効**とします。
- * 1.チーム登録後の大会区分・出場日の変更は出来ません。

7. 実施部門及び編成

編成	出場資格	実施部門					
		JAZZ	HIP HOP	Songleading /POM	Dance Drill	DUET TRIO	SOLO
Tiny	出場選手全員が 未就学児の編成	○	○	○	○	○	○
Mini	出場選手全員が 小学校4年生以下	○	○	○	○	○	○
Youth	出場選手全員が 小学校6年生以下	○	○	○	○	○	○
Junior	出場選手全員が 中学生以下	○	○	○	○	○	○
Senior	出場選手全員が 高校生以下	○	○	○	○	○	○
Open	年齢による出場 制限なし	○	○	○	○	○	○

- * 出場編成は年長者の出場選手に合わせること。

8. 演技時間

- ★ JAZZ, Songleading /POM, HIP HOP, Dance Drill 部門 2分15秒以内
- ★ Solo, Duet /Trio 部門 1分30秒以内

9. 評価について

- ★ 下記点数によりエントリー選手全員にそれぞれ金、銀、銅のメダルが送られる。

メダル	銅	銀	金
点数	～69点	70～79点	80点～

* VTR 審査に参加の団体には後日大会結果と共にメダルをお送りします。

10. 演技フロア

- 演技フロアのサイズについては別紙を確認して下さい。
- 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に1mラインを引く。
- 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。
- 演技フロアの保護のため、出場選手はピンヒール等、床に傷のつく恐れのあるシューズを着用してはならない。
また演技に使用するバトン、プロップ等にはゴム等を装着し床に傷を付けない工夫をすること。

11. 音源について

- 音楽ファイル形式のデータ (AIFF、WAV、AAC、MP3 など)
- 編曲されている場合でも1曲として編集すること。
- ファイル名を「出場日」、「エントリーNo.」、「出場部門」、「チーム名」に変換すること。
例：20201219_01_POM_ダンスドリルチーム
- 音楽データはタイムテーブル発表後、大会の一週間前までに別紙「大会使用音楽届出」(ホームページ Top ページ右上“各種書類”より取得)に必要な事項を入力の上、まとめてエントリーと同様のメールアドレスまで提出してください。
提出はメール添付もしくは [Dropbox リンク](#) を利用すること。
- 出場に関しての留意事項
曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであるよう最大限の努力をすること。
日本語以外の歌詞の楽曲を使用する際はその歌詞に不適切な言葉がないか必ず確認をすること。

12. セーフティガイドライン

本協会では、安全に競技を行うために、下記のセーフティガイドラインを設定する。

- シューズは必ず履くこと。(コンテンポラリーシューズ等は可)
ピアス、イヤリングは禁止。
- ポンポンやプロップを持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンブリングは禁止 (ストールなどを含む)。
例外：前転・後転は認められる
体重をかける技は何も持っていない状態の手で演技フロアに接していること。
全体重を他のメンバーにかける場合も、手に何も持っていない状態で行うこと。
※リフトの上に乗るメンバーが土台のメンバーに全体重をかけてから上に乗る場合も素手で行うこと。
- 空中で回転を伴うアクロバット技については一人で行うこと。
(バックフリップ、側宙、バク転、前方転回など)
人の上に乗る場合必ず出場メンバー内で補助をつけること。(肩、背中、手、膝など)

人の上から飛び降りるのは禁止。

但し、ジャンプの踏み切りから着地まで補助があれば実施可能(リフトとみなす)

※トータッチジャンプをするメンバーの腰を土台のメンバーが支えて実施するのは可能。

D. その他、審判員が危険とみなした行為。

13. ペナルティ(全部門共通)

- ① 8項が定める演技時間の超過が5秒以上あった場合は結果より**2点減点**する。
- ② 10項 d)演技フロア保護の為の適切な処置がされていなかった場合**(失格および修繕の為の実費請求)**
- ③ 12項が定める禁止事項一人一回の実施につき結果より**2点減点**する。

14. 共通審査項目

フロア全体を使い SHOW UP された観客を魅了するパフォーマンスとその完成度が要求されます。

【演技内容】

- チーム/部門ごとのオリジナリティある演技。
- 多様なフロアの使い方、フォーメーションの連続性のある移り変わり。
- 技の難度がチームのレベルにあっていること

【実施】

- 正確さ(一致した動き、人と人との間隔が均等であること、など)

【演技者としての自覚】

- 観客を楽しませる表情、表現力、アピール

【外見】

- 工夫を凝らした美しい衣装(年齢に合ったもの。観客に不快感を与えるものは避けること。)

部門ごとのテクニックにおいて難度の高さがすべてではありません。

未熟なものは逆に作品の完成度を下げてしまうことになります。

15. 部門毎の審査ポイント

※下記にある、テクニックとは各年代・チームにあったテクニックを指します。

① Songleading / POM

POM を生かし、視覚的効果のある構成と正確でシャープなアームモーションが求められます。

※全員で全体の80%以上POMを使用すること。

② JAZZ

ダンステクニックと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性とバレエベーシックが求められます。

③ HIP HOP

音楽と調和した連続性のある構成と、技術の正確性、ボディコントロールが求められます。

④ Dance Drill

設定されている部門以外のダンスジャンルであること。

各ジャンルの特徴を生かした構成が求められます。

例：プロップ/メジャーレット/ショートフラッグ/ノヴェルティ等。

Tiny~Junior 編成はJAZZ、HIP HOP も含む。

⑤ SOLO

ダンステクニックと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性とバレエベーシックが求められます。

また、1人でどこまで会場を魅了できるかが重要です。

⑥ DUET/TRIO

各ジャンルのダンステクニックと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性が求められます。

上記①～④までのジャンルがベースになっている事が望ましい。

16. その他

新型コロナウイルスの感染防止の為に、厚生労働省、文部科学省、スポーツ庁をはじめ都道府県や市区町村、選手が所属する学校等が定めたガイドラインを参考に大会へ向けた練習を行ってください。必ずしも難度の高さが評価につながるものではありません。

〈推奨しない演技内容〉

- 選手同士が接触する行為
- 選手同士が向き合う行為
- 選手同士でバトンやフラッグ、プロップ等を共有する行為

上記に関して、実施しても減点・ペナルティはありませんが、感染防止を念頭にチーム責任者・選手・保護者の理解の元に実施内容を検討してください。

17. 大会に関するお問い合わせ

NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-5-20 押田ビル 3F

TEL 03-3556-6080 FAX 03-3556-6139

ホームページ <http://www.dancedrilljapan.com/>

問い合わせメールアドレス：info@dancedrilljapan.com